

別紙1 令和8年度 大手前通り・姫路城周辺イルミネーション事業実施業務委託  
《提案者向け資料》



# 目次

01	大手前通り・姫路城周辺イルミネーション照明デザインコンセプト	-3
02	令和8年度実施方針	-6
03	イルミネーション実施エリアについて ※提案における留意事項	-7
04	姫路城周辺イルミネーション	-8
05	大手前通りイルミネーション	-13
06	姫路城彩雲ライトアップ	-16
07	姫路駅前広場	-19
08	大手前通り	-20
09	モニュメント	-21
10	点灯セレモニー	-24
11	歩行者天国	-26
12	大手前公園	-28
13	世界遺産・国宝姫路城	-30

## 歴史・文化

姫路市の歴史を象徴する姫路城と、  
今まさに姫路の文化が生まれ育ちゆく市街地、  
これらをつなぐ場として歴史と文化を重視したものであること。

## 景観・創造

夜の景観の美しさだけでなく、  
そのために生じる昼の景観への影響にも配慮し、  
駅と城を結ぶ大空間ならではの創造性豊かなものとする。こと。

## 観光・未来

まちの景観資産としての価値を高めることで、  
次の世代へ引き継げる観光資源となり、  
より豊かな未来が実感できるようなものであること。

## 普遍・堅実

一時の流行に左右されることなく、  
大勢の人々に受け入れられ、  
最新の技術に基づく確実なものとする。こと。

姫路城ライトアップは、天守群を純白の光色で照らし出すことを主題としていますが、新しい光の演出として、毎晩20時と21時から15分間、「彩雲ライトアップ」と銘打った特別演出も行っています。

「彩雲ライトアップ」とは、太陽光で雲に光色が現れる現象である彩雲をイメージした、月毎に変化する演出プログラムによって、季節感を表現したものです。

「姫路市都市環境照明ガイドライン」で、大手前通りは、都市の魅力をつくり出す重要な景観軸と位置付けられており、景観核である姫路城を生かしたまとまりのある光環境が求められています。

大手前通り・姫路城周辺イルミネーションは、以上のような前提を踏まえ、強い光、派手な光色、激しい動きなどは避け、あくまでも姫路城ライトアップに調和する光として、次頁以降の内容で実施されるものとします。

# 大手前通りイルミネーション



### ◆エリア拡大

令和8年度は、大手前通りだけでなく、姫山公園を中心とする姫路城周辺でもイルミネーション、ライトアップを実施します。※実施エリアは優先順位を付けています。詳細は4頁以降をご確認ください。

### ◆イルミネーション実施期間及び点灯時間の短縮

令和8年度は、令和8年11月20日（金）から令和9年1月11日（月・成人の日）までの53日間、点灯時間は全日17時から22時までとします。

### ◆あたら夜の継承

令和8年度も引き続き「あたら夜」をテーマにイルミネーションを実施します。「明けてしまうのが惜しいほどの素晴らしい夜《あたら夜》」をテーマに他都市にはないイルミネーションを提案してください。

※「あたら夜」・・漢字で「可惜夜」と書き、「明けるのが惜しいほど素晴らしい夜」を意味します。単に「綺麗」と眺めるだけでなく、「このまま終わってほしくない」という強い愛惜の気持ちが込められています。

# 03 イルミネーション実施エリアについて

※令和8年度は実施エリアに優先順位を設定しています



総延長 = 大手前通り 《約0.9km》 + 姫路城周辺 《約0.9km》 = 約1.8km

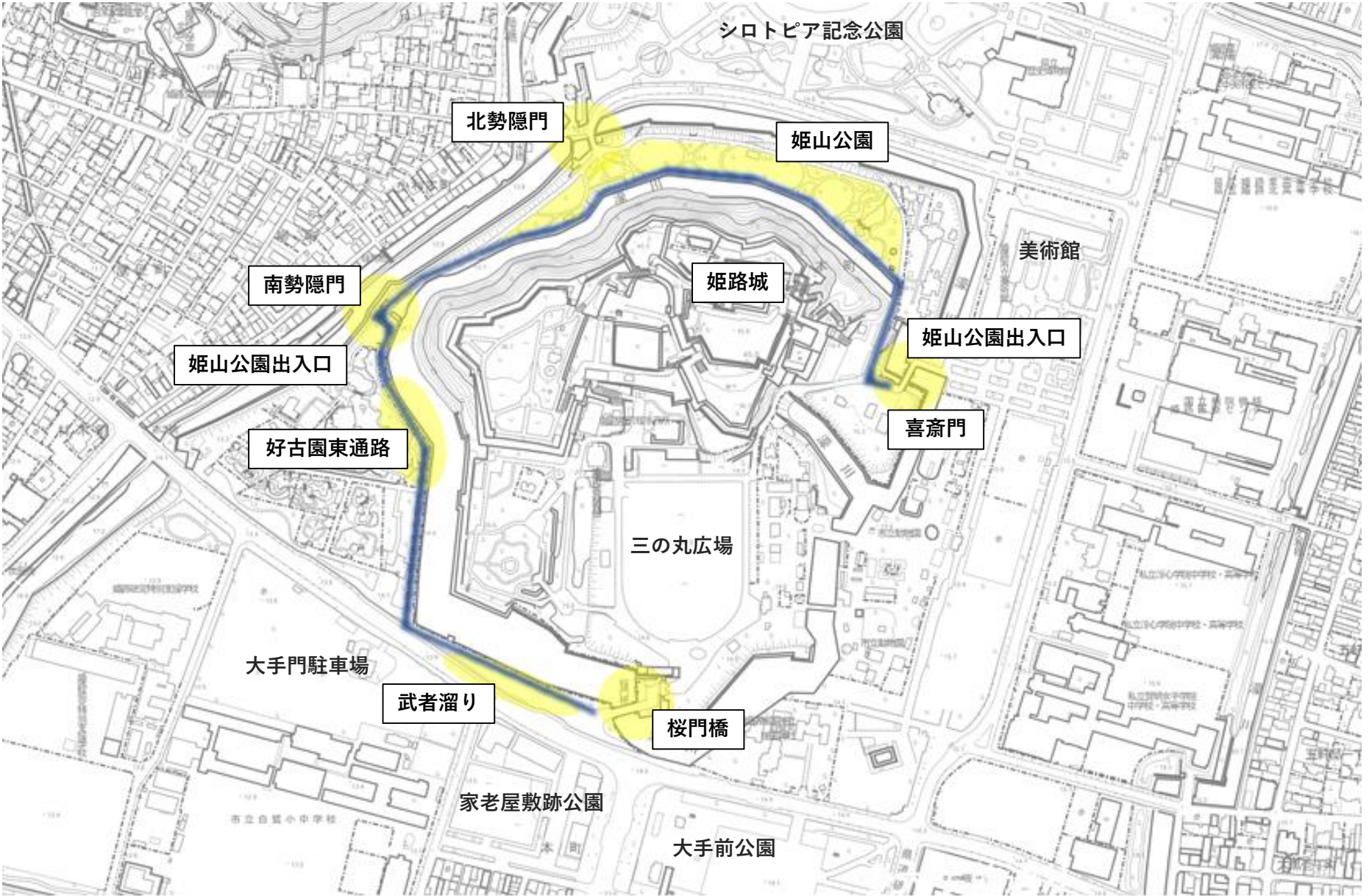
## 提案における注意事項 《優先順位》

- 01 姫路城周辺・駅前・城前エリア（大手前公園西側のイチョウ12本含む）を優先的にイルミネーション、ライトアップを実施すること
- 02 中間エリアについては、イチョウのイルミネーション（白色LEDストリングス）を優先すること
- 03 大手前通りのモニュメント（彫刻）については、全エリアにおいてライトアップすること

詳細は別紙2「令和8年度大手前通り・姫路城周辺イルミネーション事業実施業務委託【イルミネーション対象範囲及び電気設備平面図】」に記載

## 04 姫路城周辺イルミネーション

# 姫路城周辺概要図



# 姫路城周辺イルミネーションのデザインにおける前提条件

## 桜門橋

- ・橋桁高欄アップライト（電球色）投光器 or ライン照明
- ・水面ブルーダウンライト（ペールブルー）投光器
- ※橋桁裏面から強い光で水に照射+スモーク
- ・橋上フットライト（電球色）ライン照明 or 行燈照明

## 武者溜り

- ・ライトアップされた石垣が堀に映りこんだ景観を支障なく見ることができるよう、目線より下でオブジェや光演出を行う

## 好古園東 通路

- ・フルカラー投光器アッパーライト
- ※演出はゆっくりとした変化光色は姫路城彩雲ライトアップカラーをベースとする

## 南勢隠門 北勢隠門 喜斎門

- ・フルカラー投光器アッパーライト
- ※演出はゆっくりとした変化光色は姫路城彩雲ライトアップカラーをベースとする

## 姫山公園 出入口付近

- ・低植栽帯はイルミネーション
- ・樹木はフルカラー投光器アッパーライト
- ※演出はゆっくりとした変化光色は姫路城彩雲ライトアップカラーをベースとする

# 姫山公園

ケヤキ：フルカラーイルミ+フルカラー投光器  
※大手前通りクスノキと同様の装飾

ケヤキ：フルカラー投光器

藤棚：吊り下げ形イルミ

北勢隠門

桜：フルカラー投光器

池周辺：電球色投光器  
※他エリアと区別し  
【和】の雰囲気

南勢隠門

姫路城

喜斎門

分岐点：単色イルミネーション+フルカラー投光器

# 姫路城周辺



## 05 大手前通りイルミネーション

# 大手前通りイルミネーションのデザインにおける前提条件

## 01 クスノキ

- ・ 姫路駅と姫路城を結ぶ大手前通りならではのスケール感を活かす。
- ・ 樹形外面全体の光色変化可能なLEDイルミネーションと、下部からのフルカラー投光器のアップライトにより、「姫路城彩雲ライトアップ」に使用する色彩をベースとする演出プログラムとすること。
- ・ 姫路城から駅前へゆっくりとたなびく雲のように、時と共に移ろう光を演出します。変化時間は、「彩雲ライトアップ」に準じた、ゆっくりとした動きにすること。

## 02 イチョウ

- ・ 歩行者が行き交う歩道内の中央に並ぶイチョウは、イルミネーションも人々に近いものとなるため、人の目に優しい輝きのイルミネーションとすること。
- ・ 純白に照らされた姫路城に合わせた、色温度5,000Kの白色光のイルミネーション。
- ・ 動きのあるクスノキの演出効果を引き立てるよう、静的な固定点灯とする。

# 大手前通りイルミネーションのデザインにおける前提条件

## 03 モニュメント

- ・色温度2,700～3,000Kの光色による小さなスポットライトで、立体感を感じるように照らし上げる。
- ・点灯時に不快なグレアがないよう、フードルーバー付きの器具とすること。

## 04 低植栽帯

- ・目線より下の低植栽帯への光は設置しない。

## 05 全体

- ・大手前通りイルミネーションは、強い光、大量の光、派手な光色、激しい動きなどは避け、あくまで姫路城ライトアップに調和する光とすること。
- ・全体の演出（白色から彩雲カラーへの色の変化と動き）について、過年度の演出内容が来場者から好評であったことから、市民を含む来場者に定着するまで令和8年度も踏襲することを基本とする。

## 06 姫路城彩雲ライトアップ

七彩（しちさい）の雲に包まれる世界遺産・国宝姫路城

姫路城の白漆喰が最も映える白色ライトアップ



通常

## ～彩雲～

太陽の近くを通りかかった雲に、緑や赤など多色などの模様がまだらに見える現象で、めでたい出来事として起きる前触れ現象・瑞相（ずいそう）のひとつ。

11月



12月



1月



# 姫路城彩雲ライトアップ

姫路城ライトアップは、天守を純白の光色で照らし出すことを主題としていますが、新しい光の演出として、毎晩20時と21時から15分間、「彩雲ライトアップ」と銘打った特別演出も行っています。

「彩雲ライトアップ」とは、太陽光で雲に光色が現れる現象である彩雲をイメージした、月毎に変化する演出プログラムによって季節感を表現したものです。

## 彩雲ライトアップ 《季節に応じた特別演出の光色》

点灯月	メインカラー		アクセントカラー	
11月	薄いオレンジ	薄いレッド	ほのかなライトブルー	上品なライトブルー
12月	薄いレッド	薄いバイオレット	ほのかなオレンジ	上品なオレンジ
1月	薄いライトブルー	薄いレッド	ほのかなグリーン	上品なグリーン
2月	薄いバイオレット	薄いシアン	ほのかなマゼンタ	上品なマゼンタ
3月	薄いマゼンタ	薄いバイオレット	ほのかなイエロー	上品なイエロー
4月	ほのかなピンク	薄いピンク	ほのかなシアン	上品なシアン
5月	薄いグリーン	薄いイエロー	ほのかなバイオレット	上品なバイオレット
6月	薄いブルー	薄いパープル	ほのかなイエローグリーン	上品なイエローグリーン
7月	薄いシアン	薄いブルー	ほのかなパープル	上品なパープル
8月	薄いブルー	薄いグリーン	ほのかなイエロー	上品なイエロー
9月	薄いグリーン	薄いバイオレット	ほのかなオレンジ	上品なオレンジ
10月	薄いイエロー	薄いオレンジ	ほのかなレッド	上品なレッド

# 07 姫路駅前広場

「城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場」



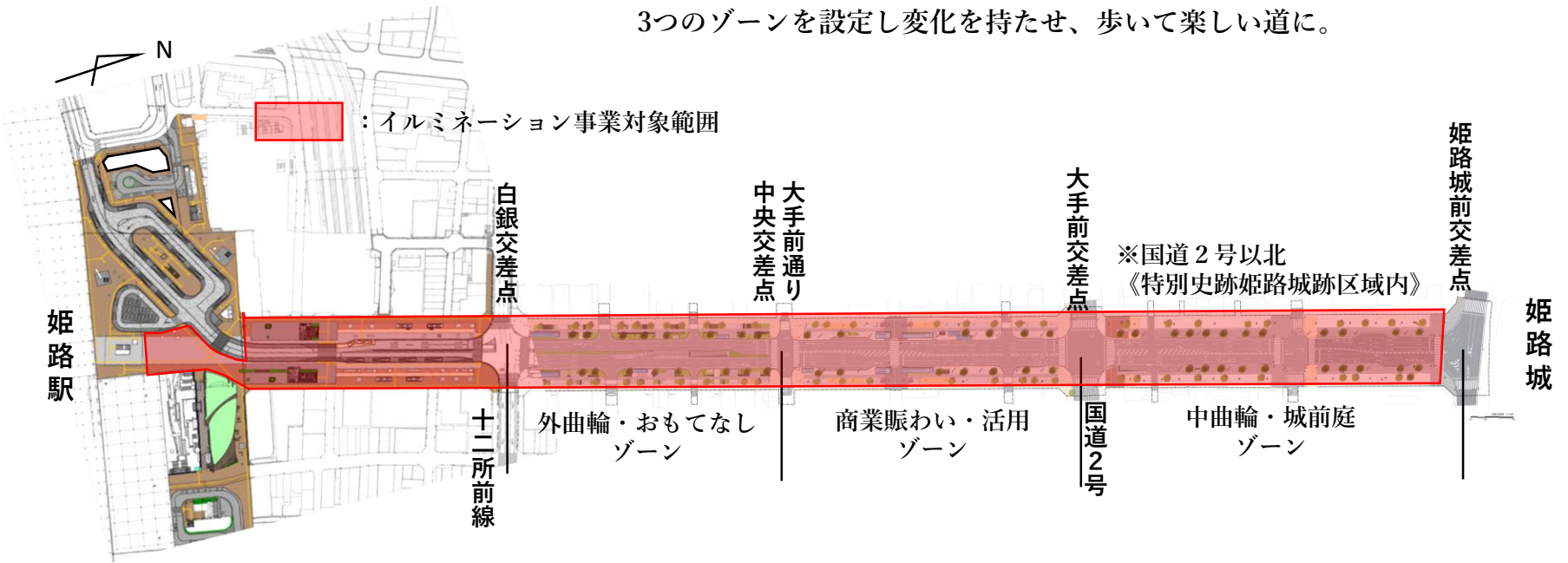
○景観核とする姫路城からある程度離れており、地域の特徴を持たせた景観範囲。【地域の明かりエリア】

駅前や商業地域の場合は、地域性を反映した賑わい感のある光環境となるが、景観核と同一視野に見えてくるため、強い光、大量の光、派手な光色、激しい動きのある光などは控えることが望まれるエリア。《姫路市都市環境照明ガイドライン》



# 08 大手前通り (ゾーニング)

街路としての風格を演出する統一感を緑とあかりの連続性で表現しつつ、3つのゾーンを設定し変化を持たせ、歩いて楽しい道に。



**外曲輪・おもてなしゾーン**

緑と花のおもてなし空間

緑地を多く確保し、モニュメントとベンチ、花壇が一体となった休息空間を整備。花壇について、アダプト制度等を活用し、市民や企業が参加できるよう整備しています。

**商業賑わい・活用ゾーン**

市民主体の活用による賑わい空間

・おもてなしの情報発信空間

市内産杉材を使用した「ウッドデッキ」など、利活用スペースを整備。イベントやオープンカフェなどができる、にぎわいの核となる空間としています。

**中曲輪・城前庭ゾーン**

姫路城を感じる静かな休息空間

現在の車道路肩部分を歩道に拡幅することで、姫路城を眺めながら散策や休憩ができます。姫路城との調和を意識した整備内容とし、重厚感のある色使いを基調としております。

## 08 大手前通り (外曲輪・おもてなしゾーン～商業賑わい・活用ゾーン)

「歩いて楽しい、大好きなお城への道」  
～「ひと」が集い、「まち」とつながる大手前通り～



○「暗みエリア」と「地域の明かりエリア」の中間的な景観の範囲。

強い光、大量の光、カラフルな光、動きのある光などを抑え、白色光をメインとした落ち着いた光環境。

《姫路市都市環境照明ガイドライン》



# 08 大手前通り（中曲輪・城前庭ゾーン 《姫路城跡特別史跡地区域内》）

姫路城を感じる静かな休息空間



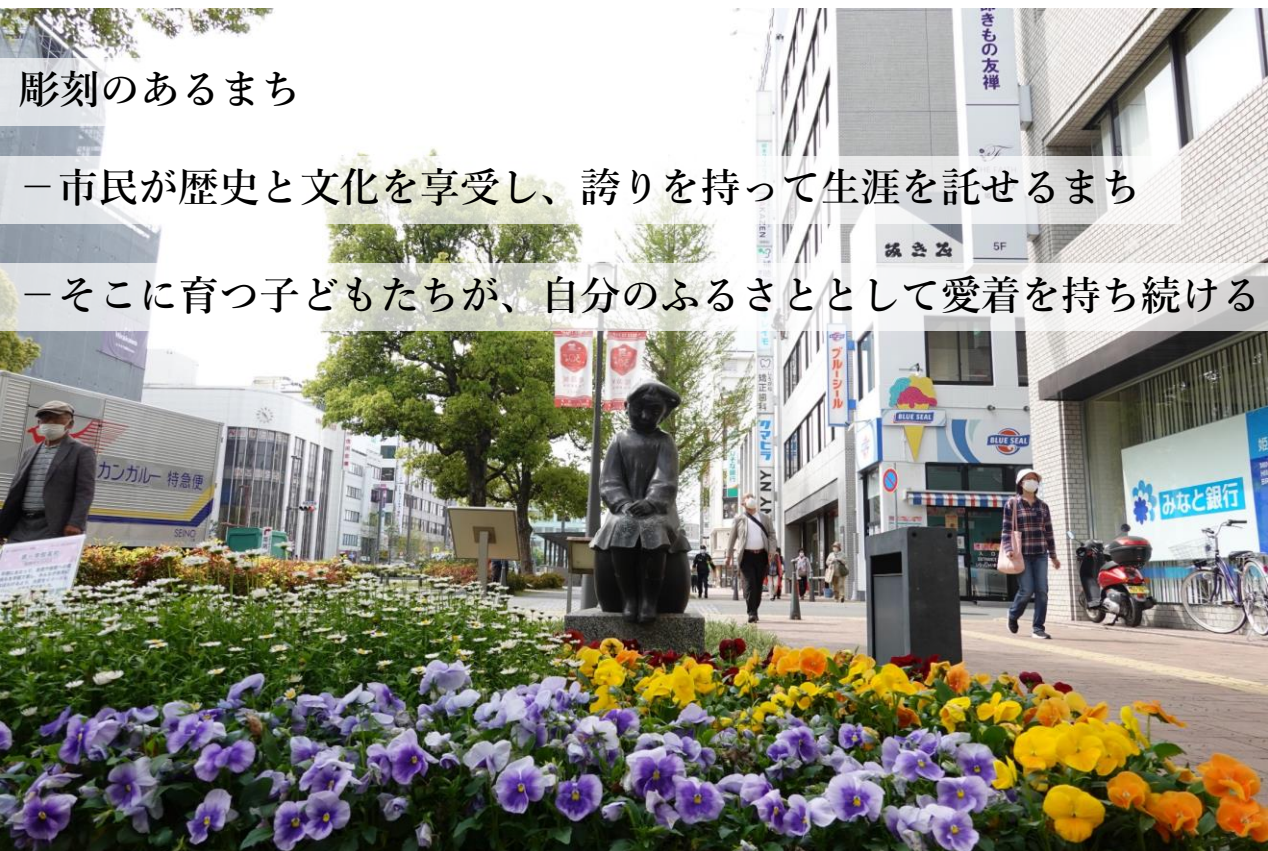
○姫路城の背景として、すぐ近くに見えてくる景観上の範囲。【暗みエリア】  
夜間景観上のフォーカスとなる姫路城を際立たせるよう、暗みの保たれた光環境。  
《姫路市都市環境照明ガイドライン》



# 09 モニュメント

## 彫刻のあるまち

- 市民が歴史と文化を享受し、誇りを持って生涯を託せるまち
- そこに育つ子どもたちが、自分のふるさととして愛着を持ち続けることができるまち



詳細は別紙4「大手前通りイルミネーション事業実施業務委託【モニュメント配置図】」に記載

## 10 点灯セレモニー

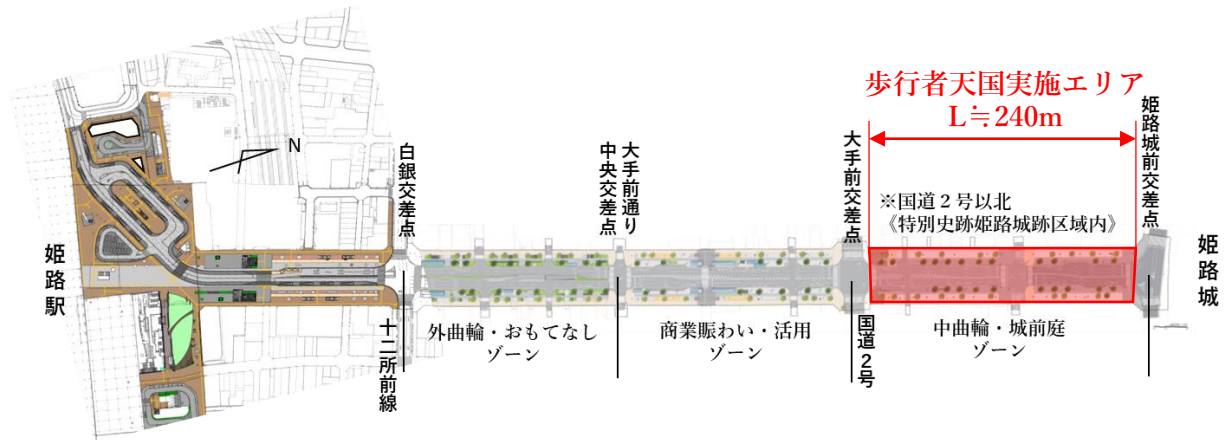
# 令和8年度は姫路駅前（歩行者通路）で点灯セレモニーを実施予定です

—令和6年度の様子



## 11 步行者天国

一歩行者天国 実施日 : 令和8年12月19日(土)・20日(日)  
 交通規制時間 : 16時00分~22時00分(予定)  
 ※例年より規制時間が短いので注意すること



## 12 大手前公園

— 大手前公園 —

市民はもとより国内外からの来訪者が憩い、交流する場

大手前公園西側にあるイチョウ12本を白色LEDで装飾すること



# 13 世界遺産・国宝姫路城



## 姫路城が世界遺産である理由

- ・その美的完成度が我が国の木造建築の最高の位置にあり、世界的にも他の類のない優れたものであること。
- ・17世紀初頭の城郭建築の最盛期に、天守群を中心に、櫓、門、土塀等の建造物や石垣、堀などの土木建築物が良好に保存され、防御に工夫した日本独自の城郭の構造を最もよく示した城であること。

“いつものまちなか”を光で彩り、姫路の新たな魅力創出へ